

# 千葉県の住宅・住環境の状況について

## 目次

### 1. ヒト

- ・人口世帯数推移、将来人口推計・ゾーン別人口世帯数世帯人員推移
- ・類型別世帯数の推移・推計
- ・出生数・合計特殊出生率、高齢化率の推移
- ・世帯年収の推移、借家に住む若年世帯の世帯年収比較
- ・子育て世帯の共働き率
- ・障害者の推移、母子及び父子世帯数の推移
- ・在留外国人数の推移
- ・住宅・住環境の総合的な満足度・要素別重要度

### 2. モノ（住宅）

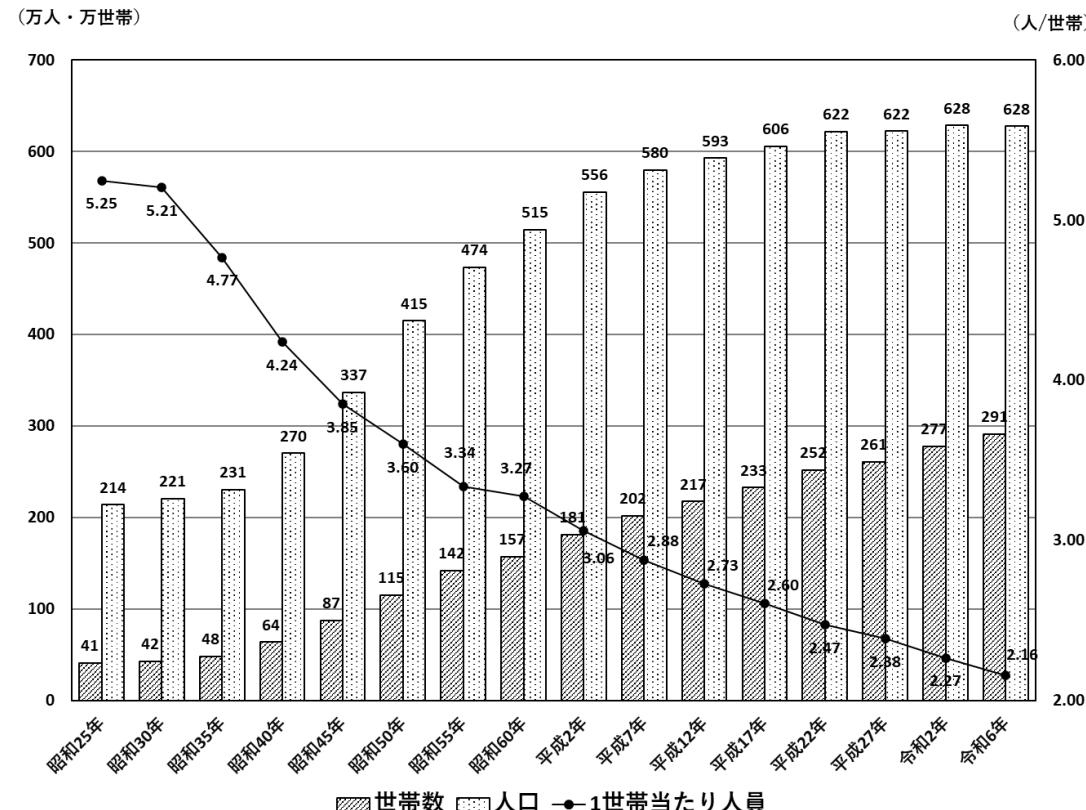
- ・住宅総数
- ・所有関係別世帯数
- ・所有関係別世帯構成比（外国人）
- ・持ち家の平均面積比較・年齢別借家の家賃比較
- ・空き家戸数、ゾーン別空き家戸数
- ・高齢者等のための設備の状況

### 3. プレイヤー

- ・市町村住生活基本計画の策定済の自治体
- ・マンション管理適正化推進計画の策定済の自治体
- ・千葉県が指定した住宅確保要配慮者居住支援法人

(実績) 人口・世帯・世帯人員はどのように推移しているのか

## 人口、世帯数が増加する一方で、1世帯当たり人員は減少し続けている

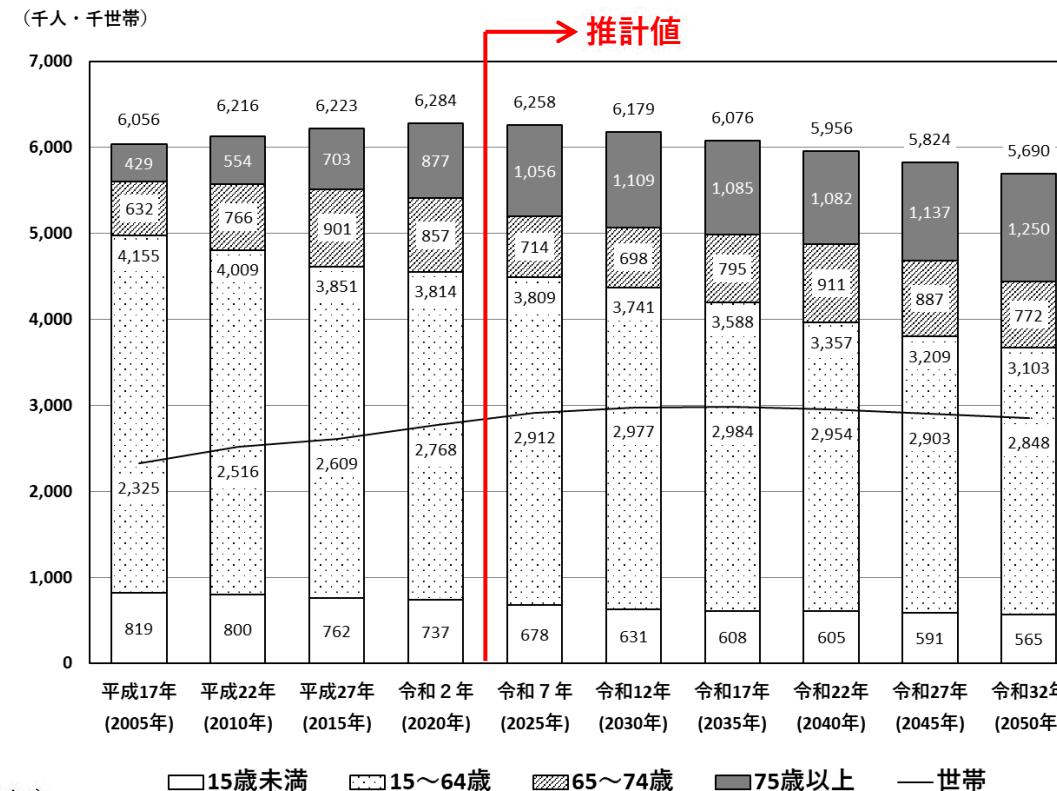


出典：国勢調査（令和6年を除く）

令和6年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）（10月1日現在）

(将来推計) 人口・世帯はどのように推移していくのか

人口は減少傾向に変化する一方で、75歳以上の高齢者が急増し、  
15歳未満の人口は減少し続け、世帯数は今後10年増加すると予測される



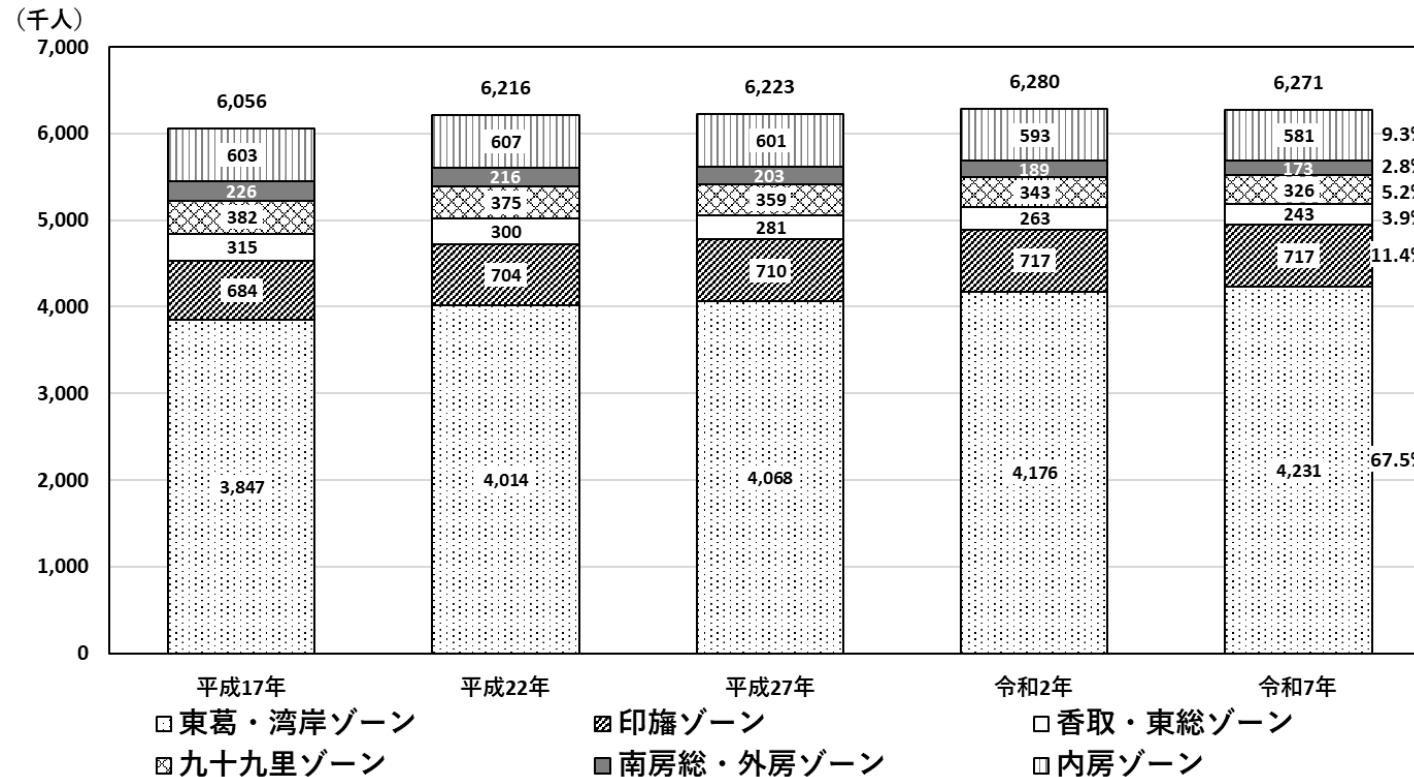
出典：国勢調査（～令和2年）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」（令和7年～人口）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（2024年推計）」（令和7年～世帯数）

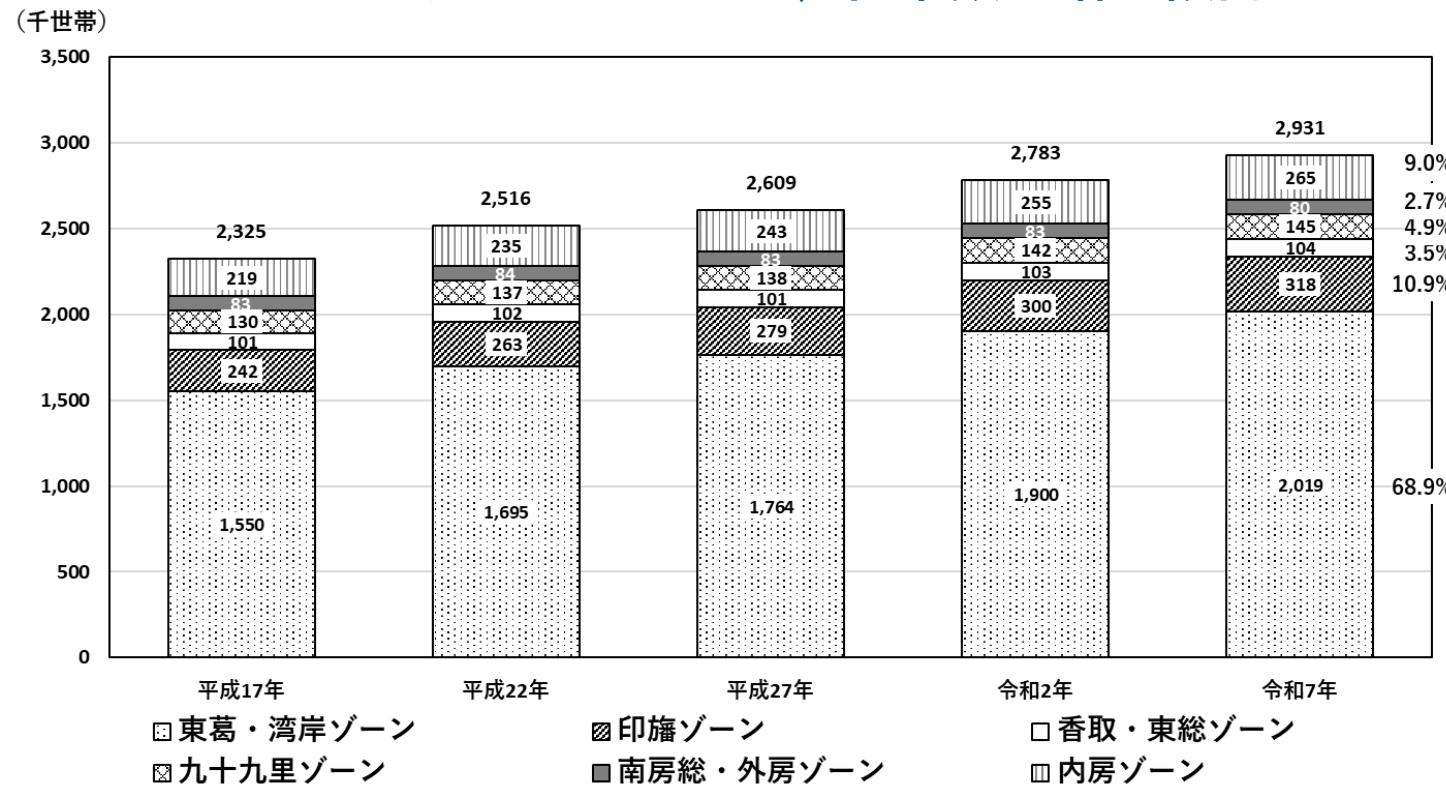
(ゾーン別) 人口はどのように推移しているのか

## 総人口は令和になって微増微減を続けている 東葛・湾岸ゾーンは人口増加の傾向。それ以外は人口減少が続く



(ゾーン別) 世帯はどのように推移しているのか

## 総世帯数は増加を続けており、 すべてのゾーンにおいて、世帯数は増加傾向

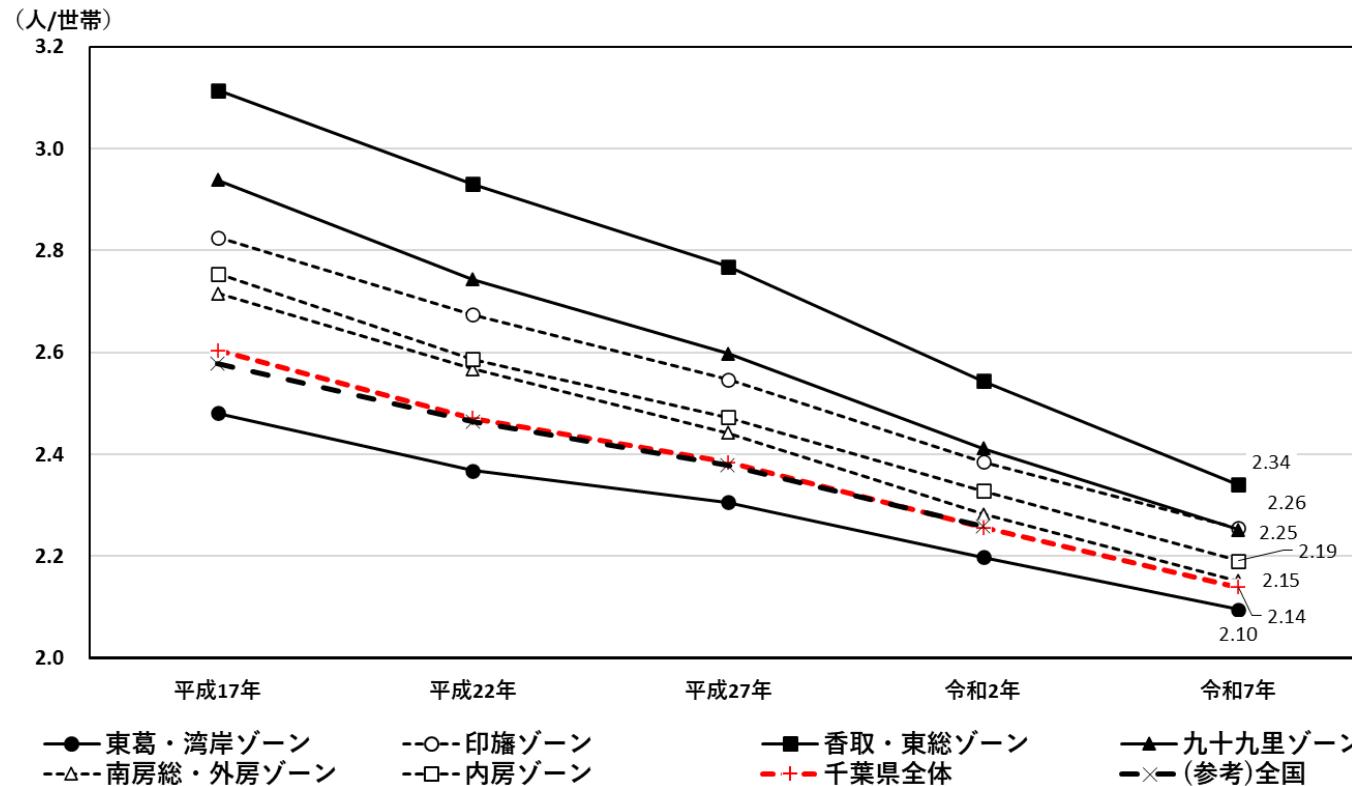


出典：千葉県毎月常住人口調査月報※（平成17年～令和7年、各年4月1日現在）

※国勢調査人口及び世帯数を基準とし、毎月の住民基本台帳の移動状況により集計

(ゾーン別) 世帯人員はどのように推移しているのか

平成17年から令和7年にかけて、千葉県の1世帯当たり人員数は約2.6人から約2.1人へ減少し、全ゾーンで同様の傾向が続いている



出典：千葉県毎月常住人口調査月報※（平成17年～令和7年、各年4月1日現在）（千葉県）

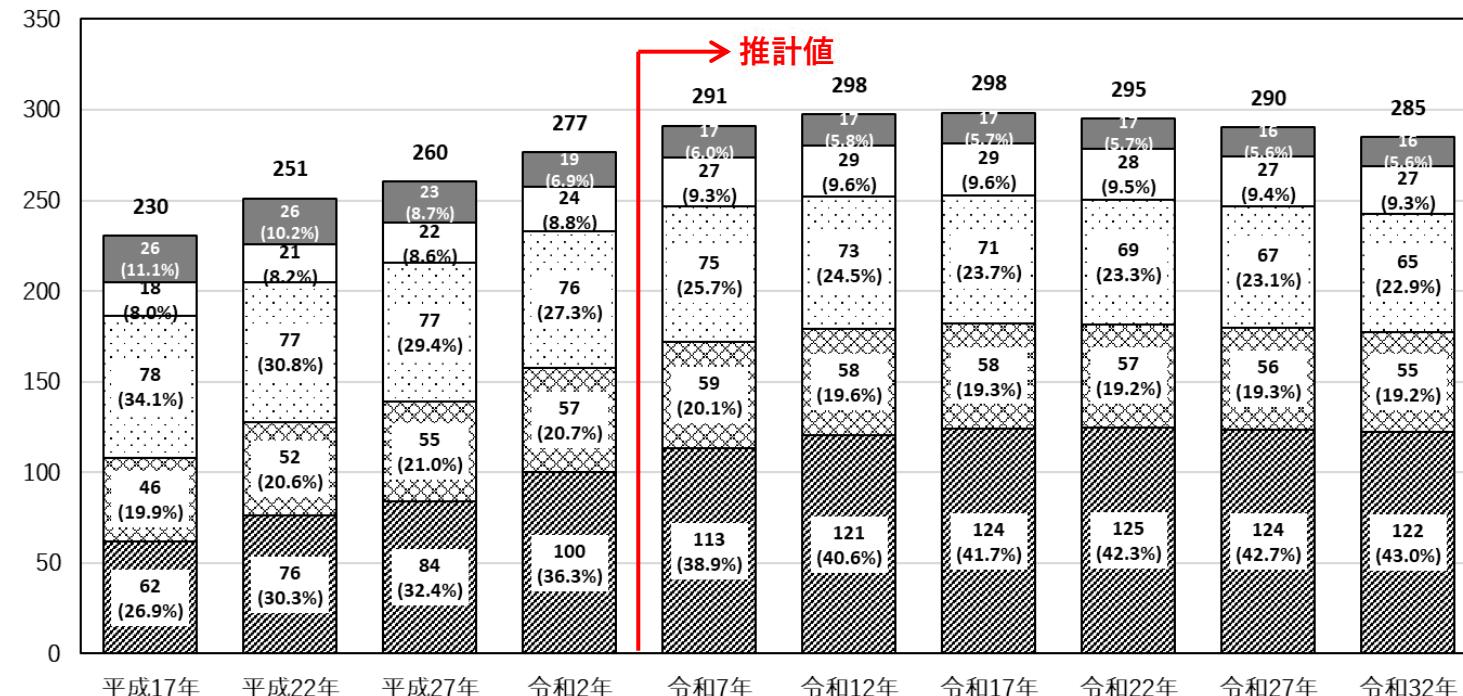
※国勢調査人口及び世帯数を基準とし、毎月の住民基本台帳の移動状況により集計

国勢調査（平成17年～令和2年）（全国）

## 類型別世帯数の推移と将来推計

平成17年から令和2年にかけて、県では単身世帯が大きく増加（約27%→36%）  
夫婦と子どもを含む世帯は減少し、世帯人員の減少が進んでいる

(万世帯)



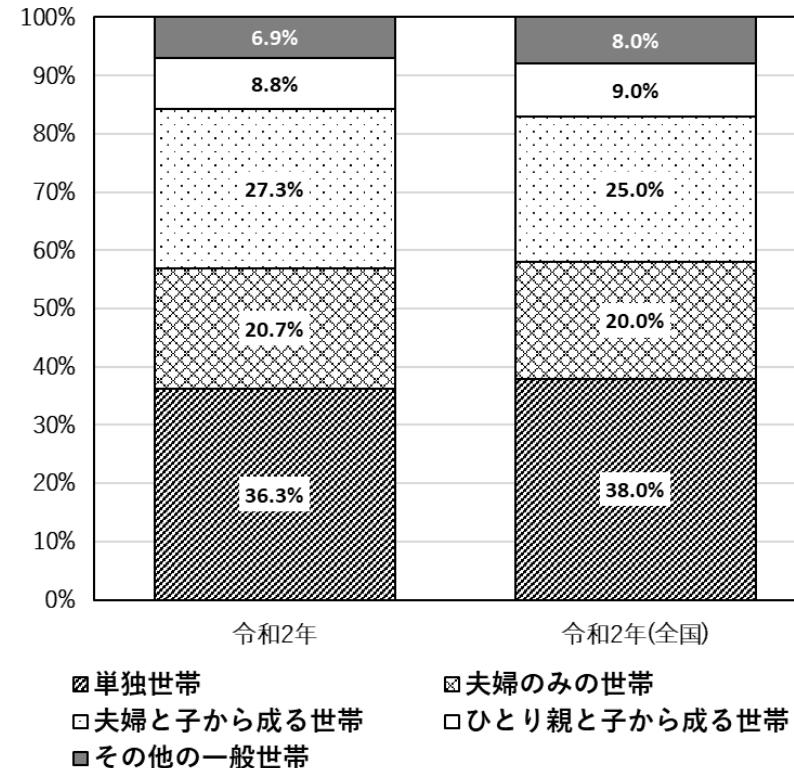
■単独世帯 □夫婦のみの世帯 △夫婦と子から成る世帯 ▲ひとり親と子から成る世帯 ▨その他一般世帯

出典：国勢調査（～令和2年）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（2024年推計）」（令和7年～）

## 世帯類型別世帯構成比の全国値との比較

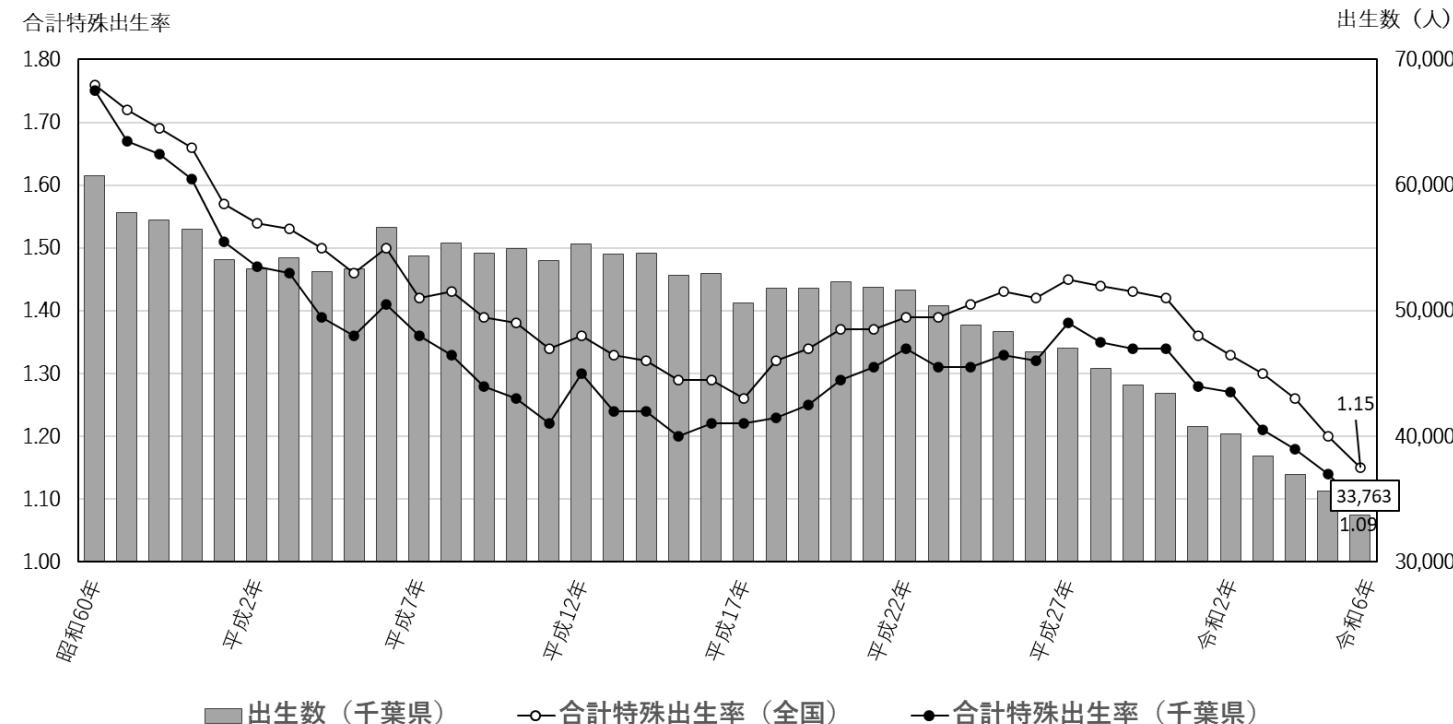
千葉県と全国の世帯構成比を比較すると  
千葉県の単独世帯が若干少なく、夫婦と子から成る世帯が若干多い  
という違いはあるが、近い値となっている



出典：国勢調査

## 出生数と合計特殊出生率の推移

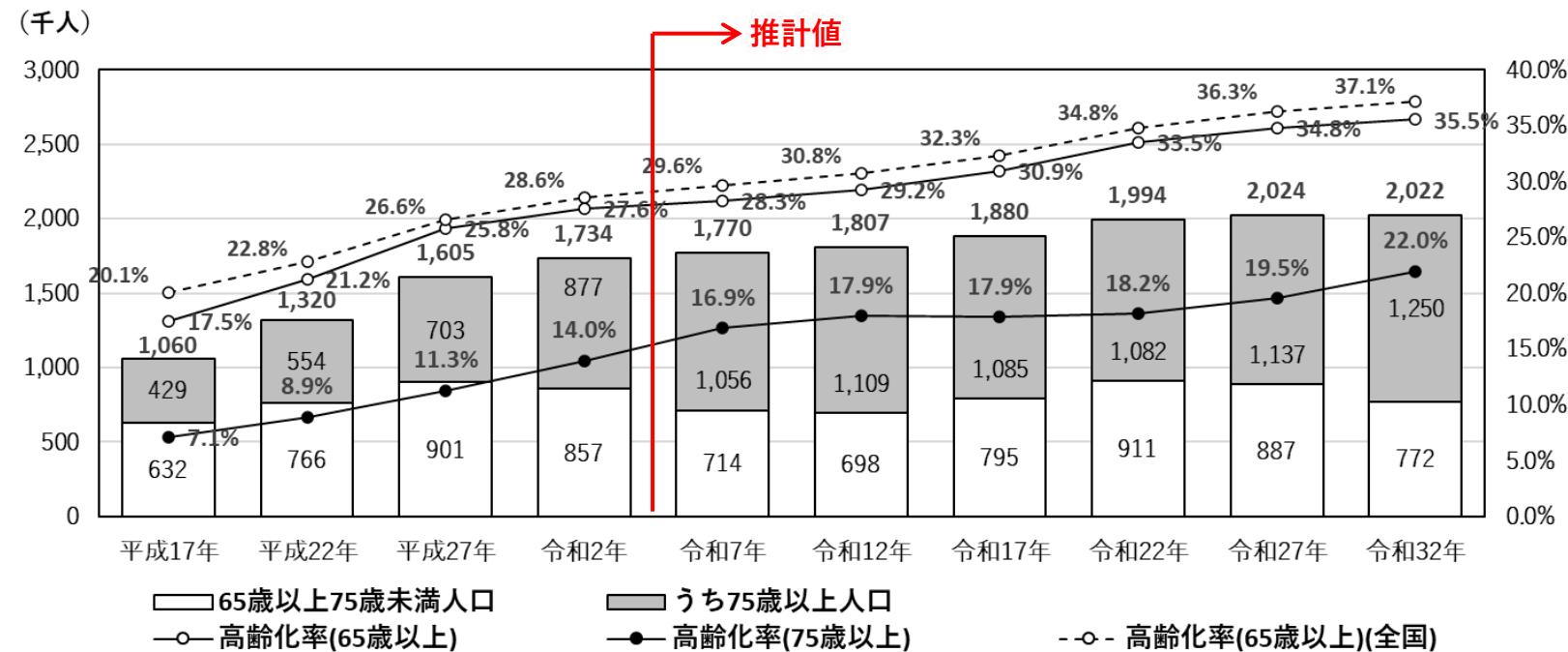
昭和60年から令和6年にかけて、千葉県の出生数と合計特殊出生率は低下し、  
出生数は半減して33,763人となっている  
合計特殊出生率は1.8程度から1.08まで低下し全国平均以下となっている



出典：厚生労働省 人口動態調査（昭和60年～令和6年）

## 高齢化率の推移

平成17年から令和32年にかけて、  
千葉県の高齢化率は17.5%から35.5%へ上昇していくと推計される  
特に後期高齢者の増加が顕著となる



出典：国勢調査（～令和2年）

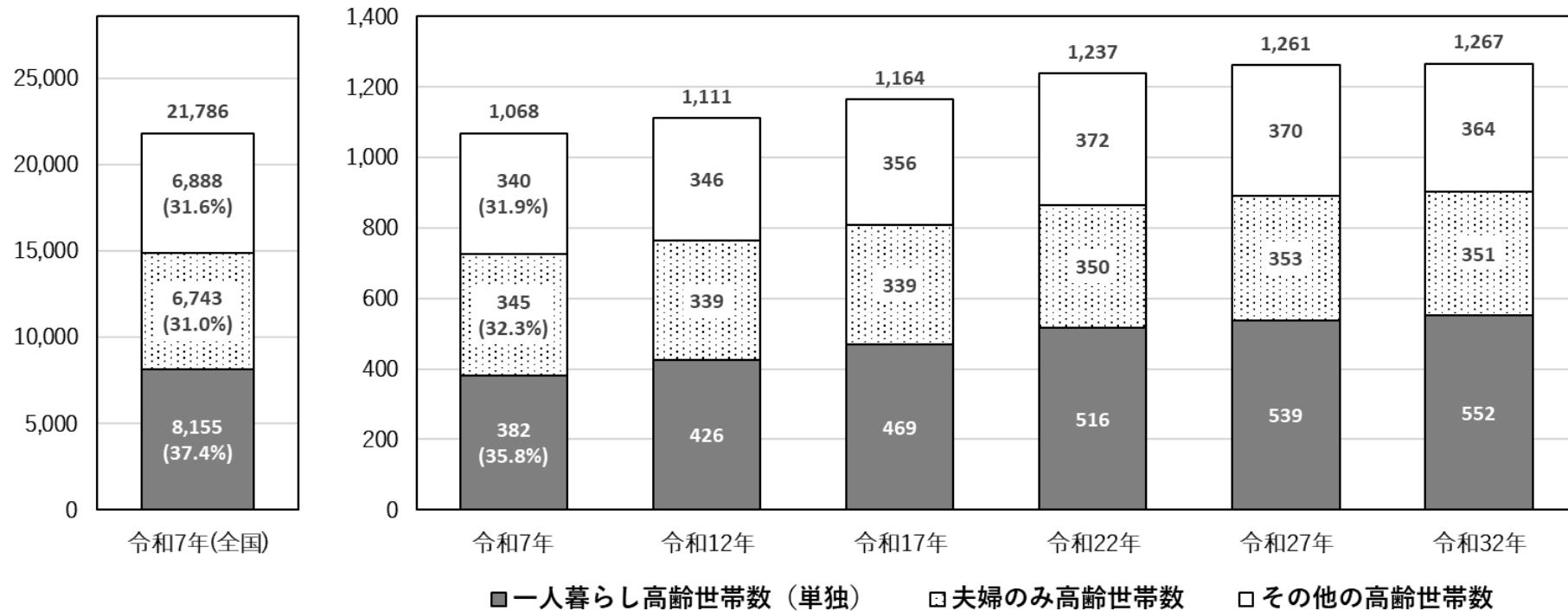
国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」（令和7年～）  
 同「日本の将来推計人口（全国）（2023年推計）」（令和7年～全国）

## 高齢世帯の世帯類型別世帯数の推移と将来推計

令和7年から令和32年にかけて、千葉県の高齢世帯は増加し、特に一人暮らし高齢世帯が大きく増えると推計されている

(千世帯)

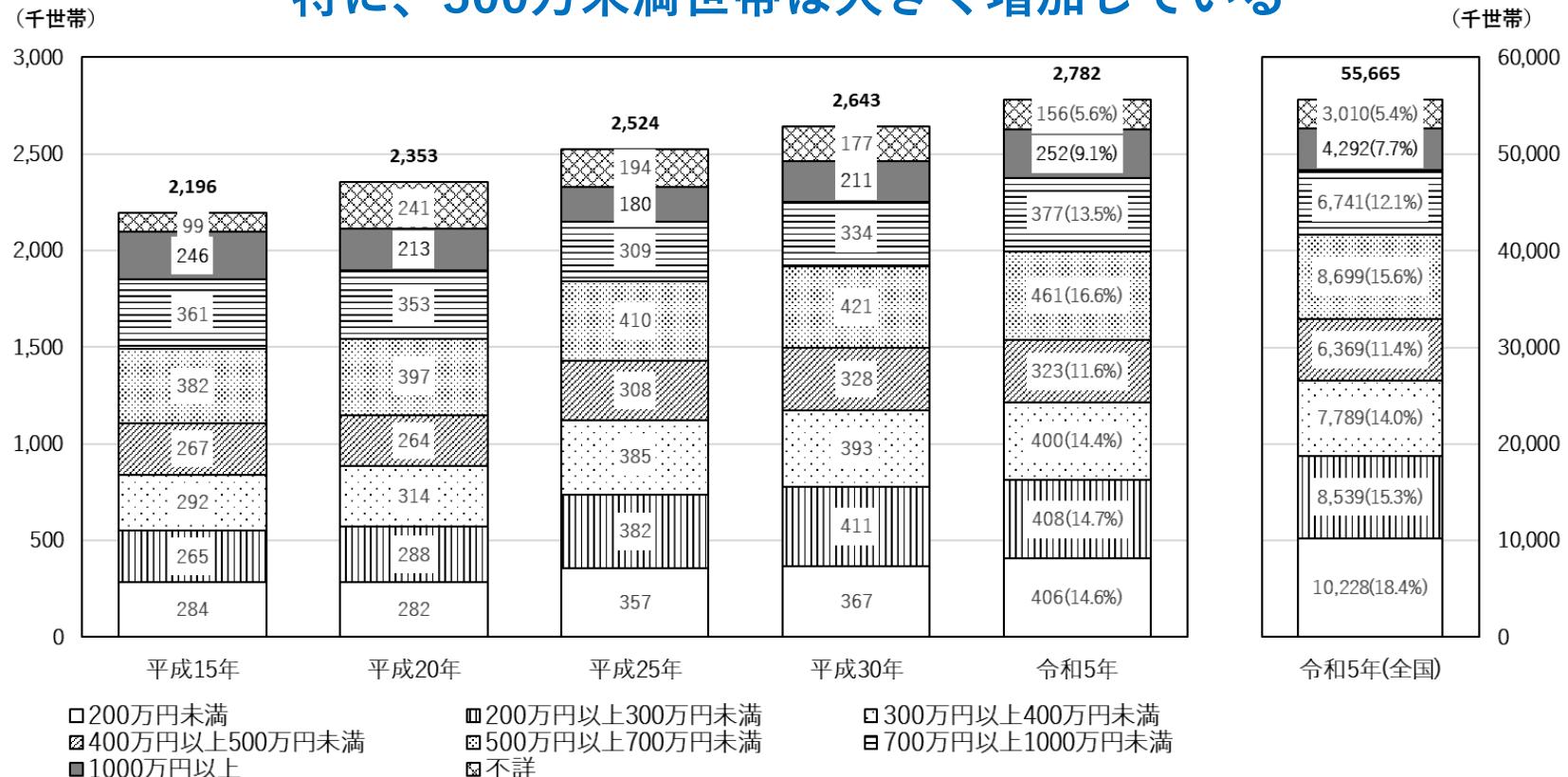
(千世帯)



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（2024年推計）」  
同「日本の世帯数の将来推計（全国推計）（2024年推計）」

## 世帯年収の推移

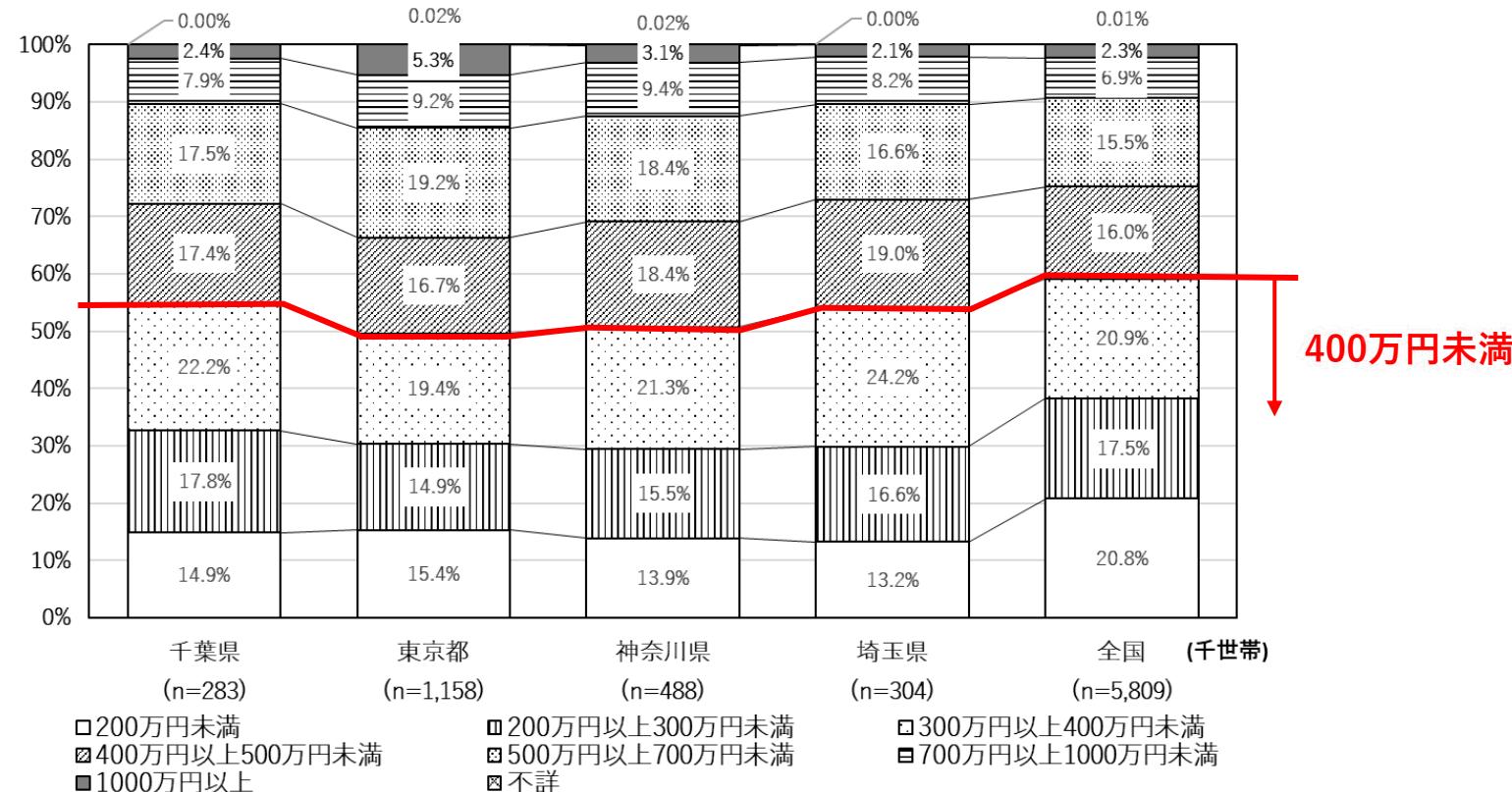
高所得層（700万円以上）はほぼ横ばいで推移しており、  
全体としてそれ以下の割合が拡大している  
特に、300万未満世帯は大きく増加している



出典：住宅・土地統計調査（平成15年～令和5年）

## 借家に住む若年世帯（世帯主30代以下）の世帯年収比較

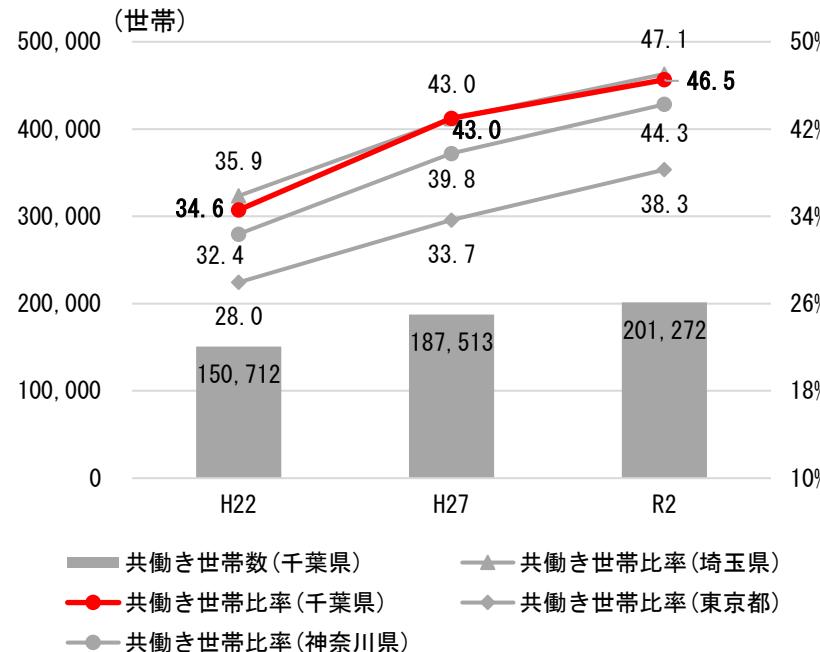
借家に住む若年世帯の5割以上が年収400万以下となっている



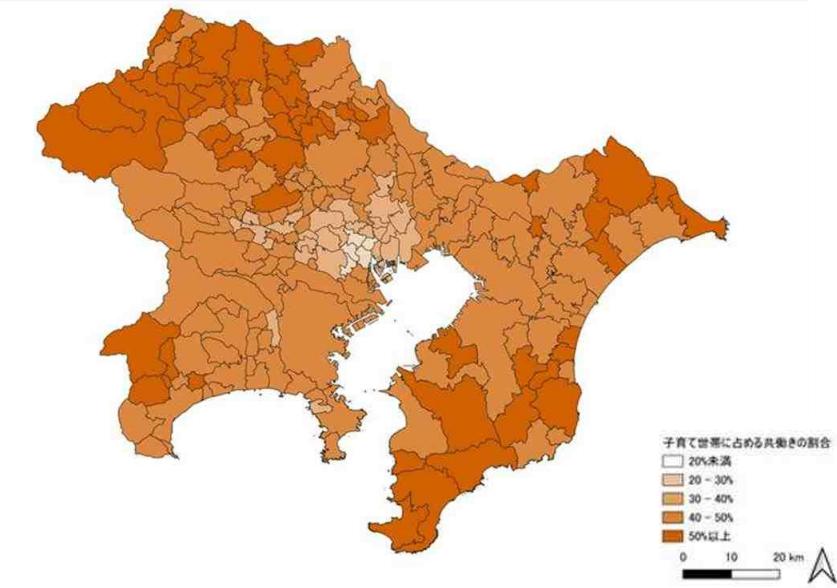
出典：住宅・土地統計調査（令和5年）

## 子育て世帯（末子18歳未満）の共働き世帯比率

子育て世帯（末子18歳未満）のうち共働き世帯数※は増加し、令和2年では46.5%と埼玉県に次いで高く、県内全市町村の18/54が5割以上となっている



【一都三県の共働き世帯比率（令和2年、末子18歳未満）】

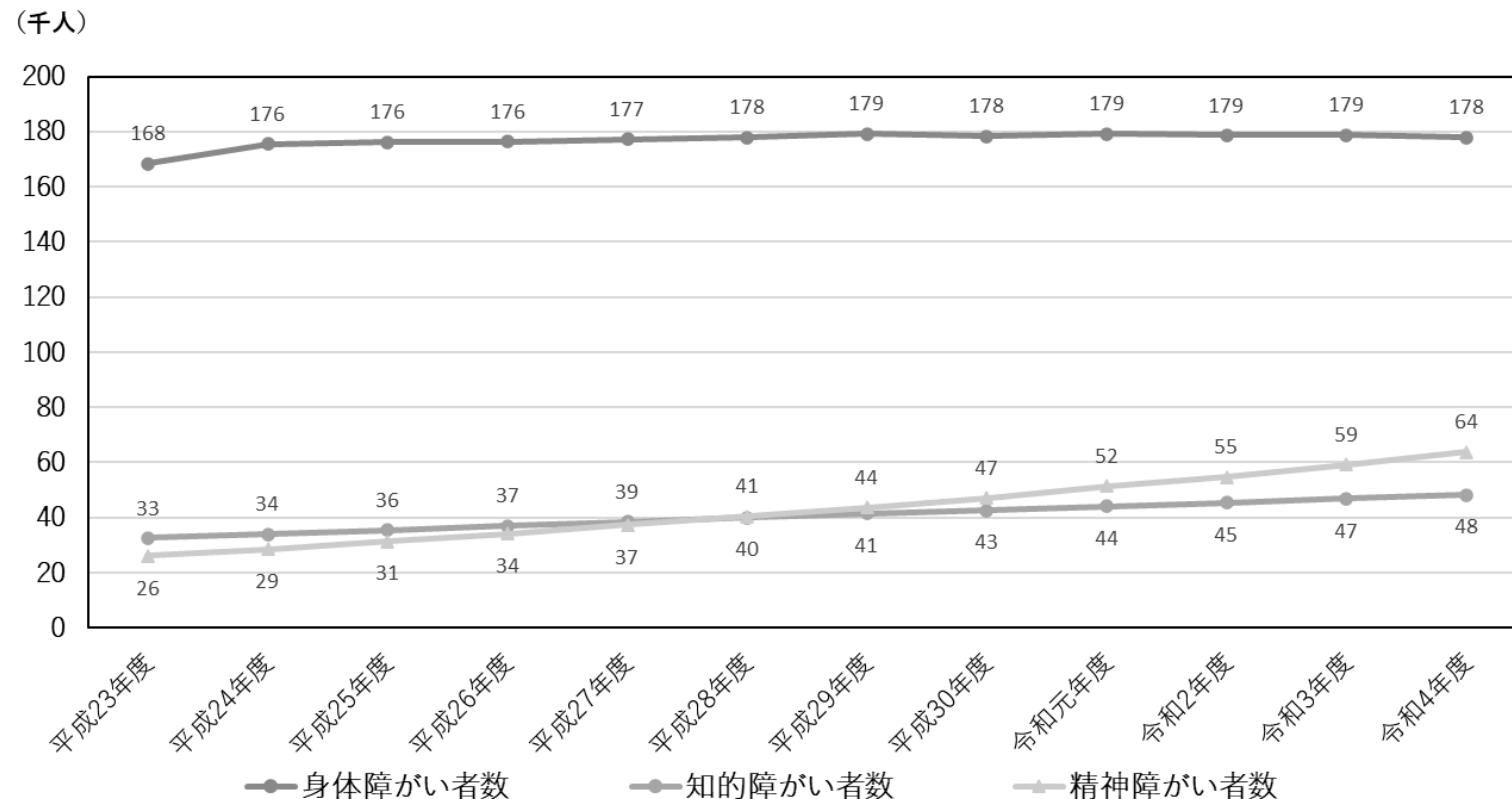


※①②③の計

①正社員共働き世帯：夫婦ともに正社員、②正社員・パートタイム共働き世帯：世帯主・配偶者のいずれかが「正規の職員、従業員」であり、もう一方が「パート、アルバイト、その他」、③非正規雇用共働き世帯：世帯主・配偶者が共に「正規の職員、従業員」以外

## 障害者数の推移

平成23年度から令和4年度にかけて、千葉県の障害者数は全体的に増加し、特に精神障がい者が約26千人から64千人へ増加している

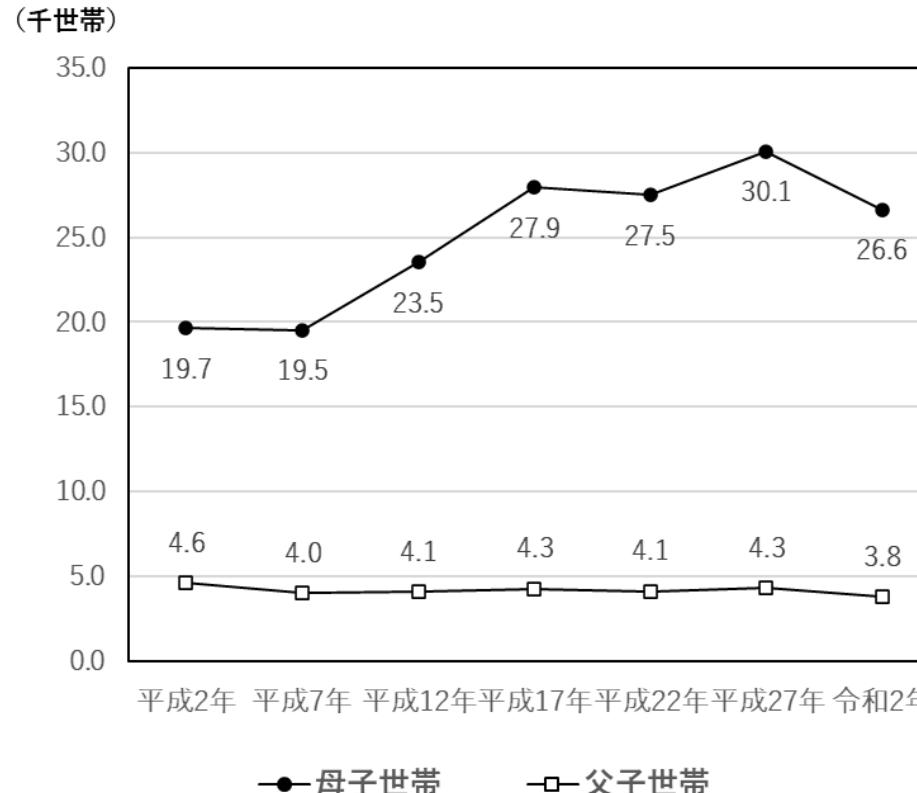


出典：第八次千葉県障害者計画

生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）（厚生労働省）

## 母子世帯・父子世帯の推移

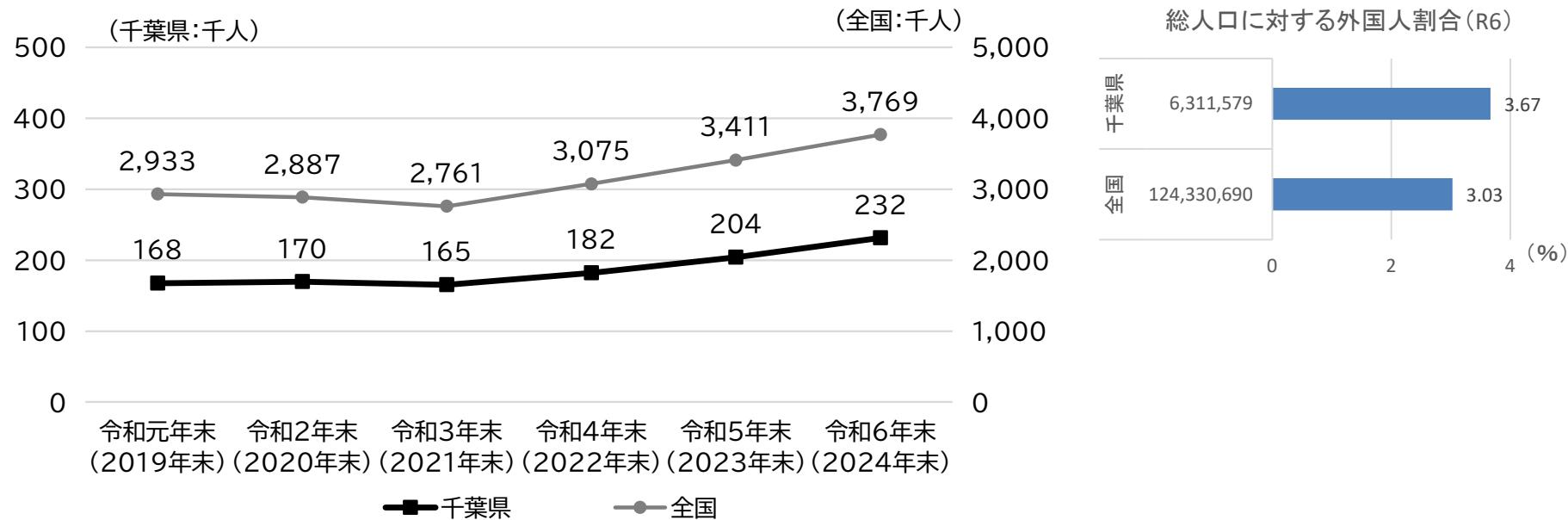
千葉県の母子世帯は増加傾向でピーク時に約3万世帯となり、その後やや減少する一方、父子世帯はほぼ横ばいで推移している



出典：国勢調査

## 在留外国人数の推移と総人口に占める割合

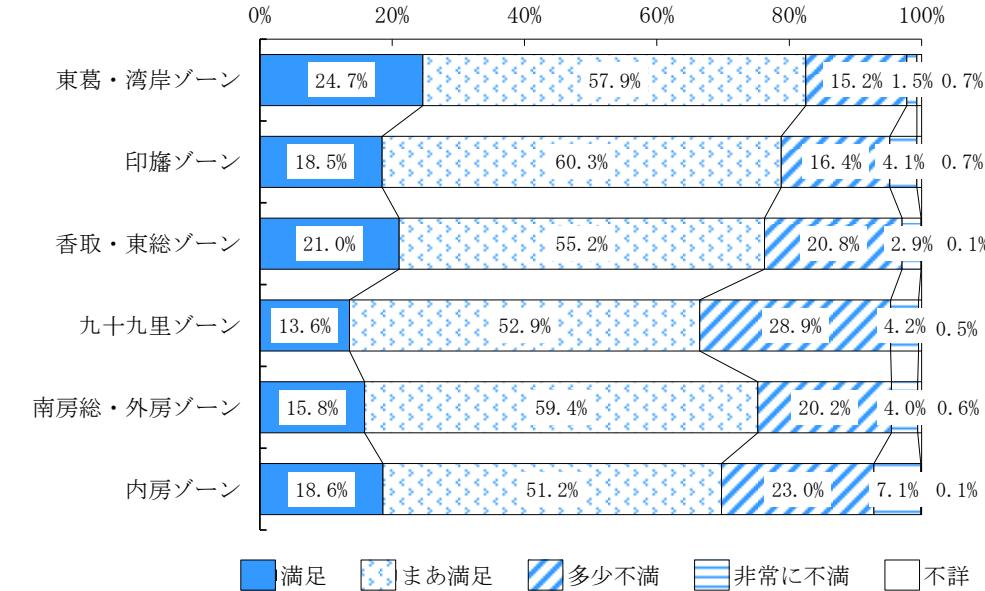
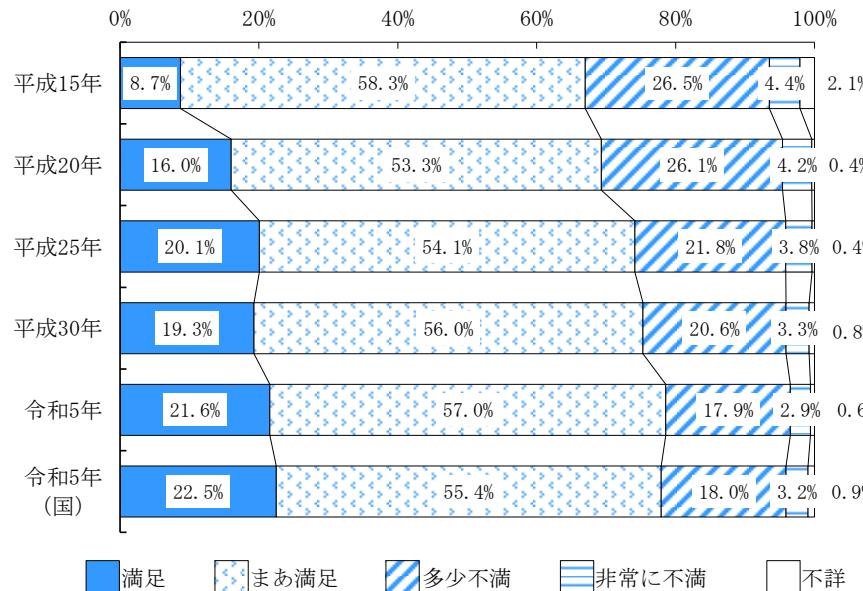
在留外国人は増加しており、総人口に対する割合は3.67%で全国より高い



出典：出入国在留管理庁（令和6年末現在における在留外国人数について）  
総人口は住民基本台帳（令和7年1月1日）

## 住宅・住環境の総合的な満足度

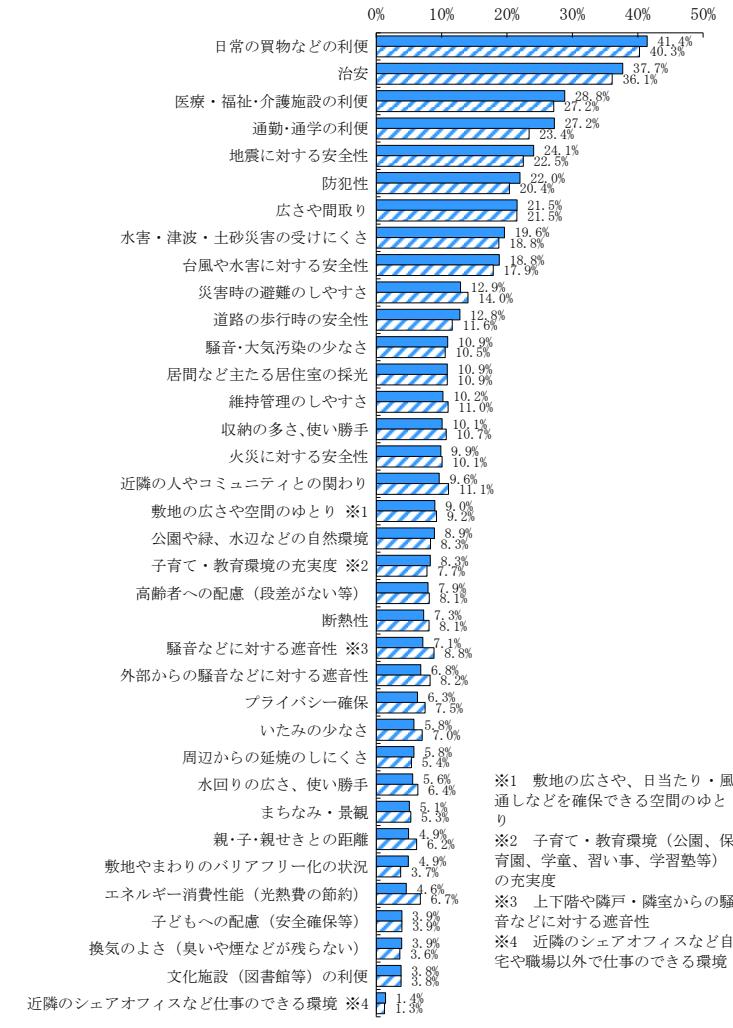
住宅・住環境の総合的な満足度(満足+まあ満足)は増加している  
ゾーン別でみると地域差が大きい



出典：令和5年住生活総合調査（千葉県）

## 住宅・住環境の要素別重要度

住宅・住環境の要素別重要度は、「日常の買物などの利便」が最も高く、次いで「治安」となっており、国と同様の順位となっている



出典：令和5年住生活総合調査（千葉県）

令和5年

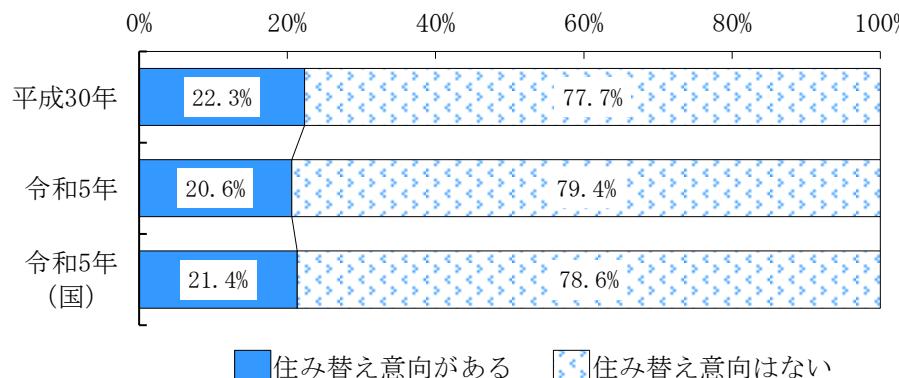
令和5年(国)

## 住宅・住環境の要素別重要度

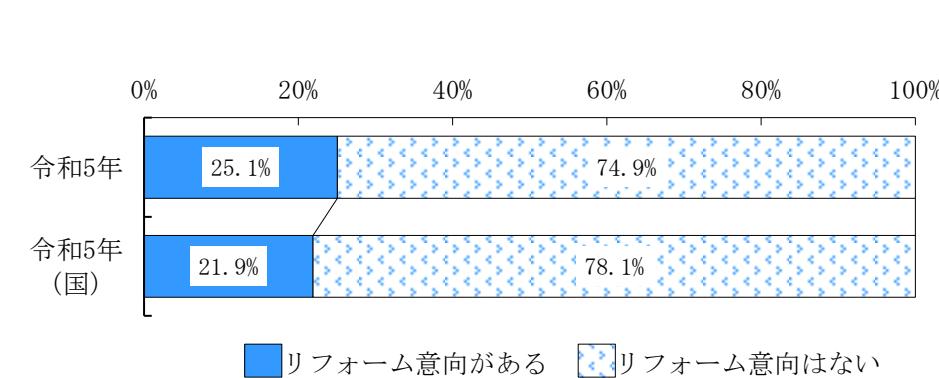
今後の住み替え意向がある世帯の割合は減少しており、国より低い割合になっている

今後のリフォームの意向がある世帯の割合は国より高くなっている

【今後の住み替え意向】



【今後のリフォーム意向】



出典：令和5年住生活総合調査（千葉県）

# 千葉県の住宅・住環境の状況

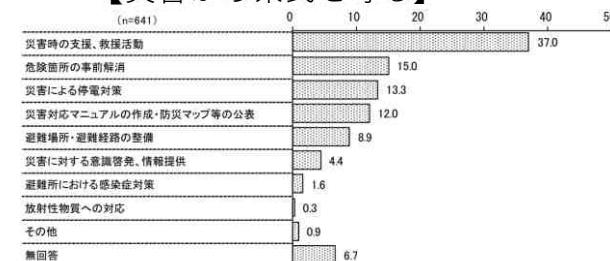
## 県政への要望



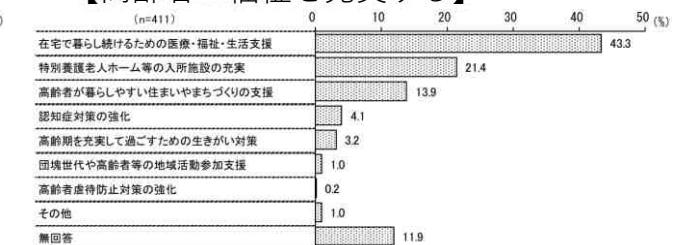
県政全般で、今後特に力を入れてほしい内容は、災害対応、高齢福祉、公共交通、子どもの育成支援の順に高くなっている

## ■上位4位の具体的な要望

### 【災害から県民を守る】



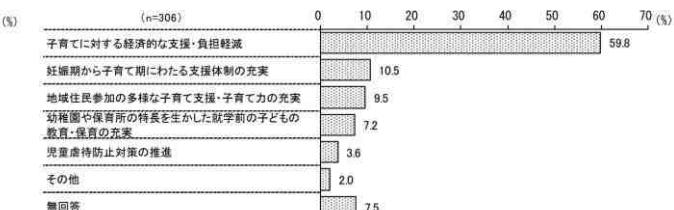
### 【高齢者の福祉を充実する】



### 【公共交通網(バス・鉄道)を整備する】



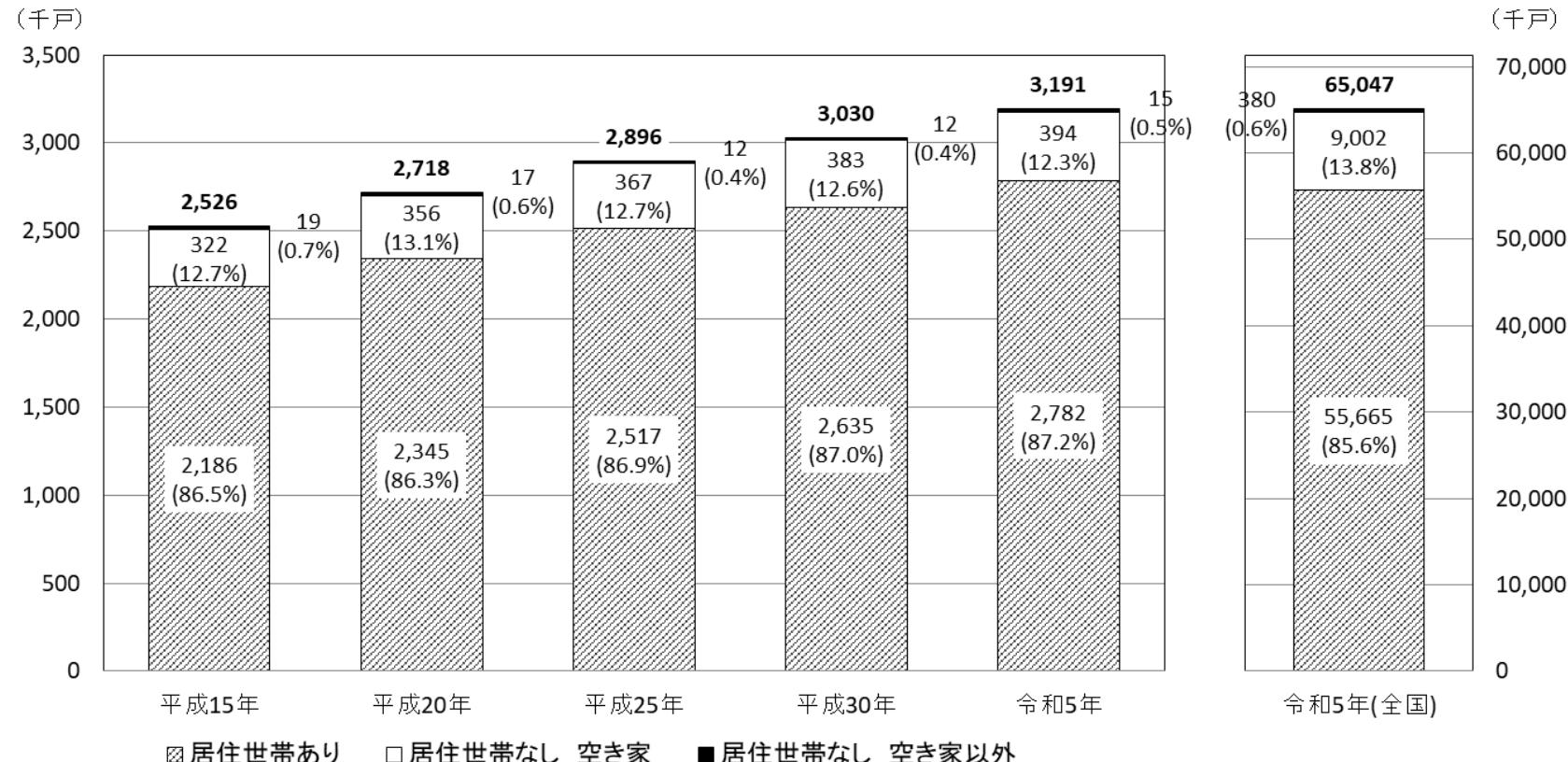
### 【次世代を担う子どもの育成を充実する】



出典：第67回県政に関する世論調査（R 6年度）

## 住宅総数の推移

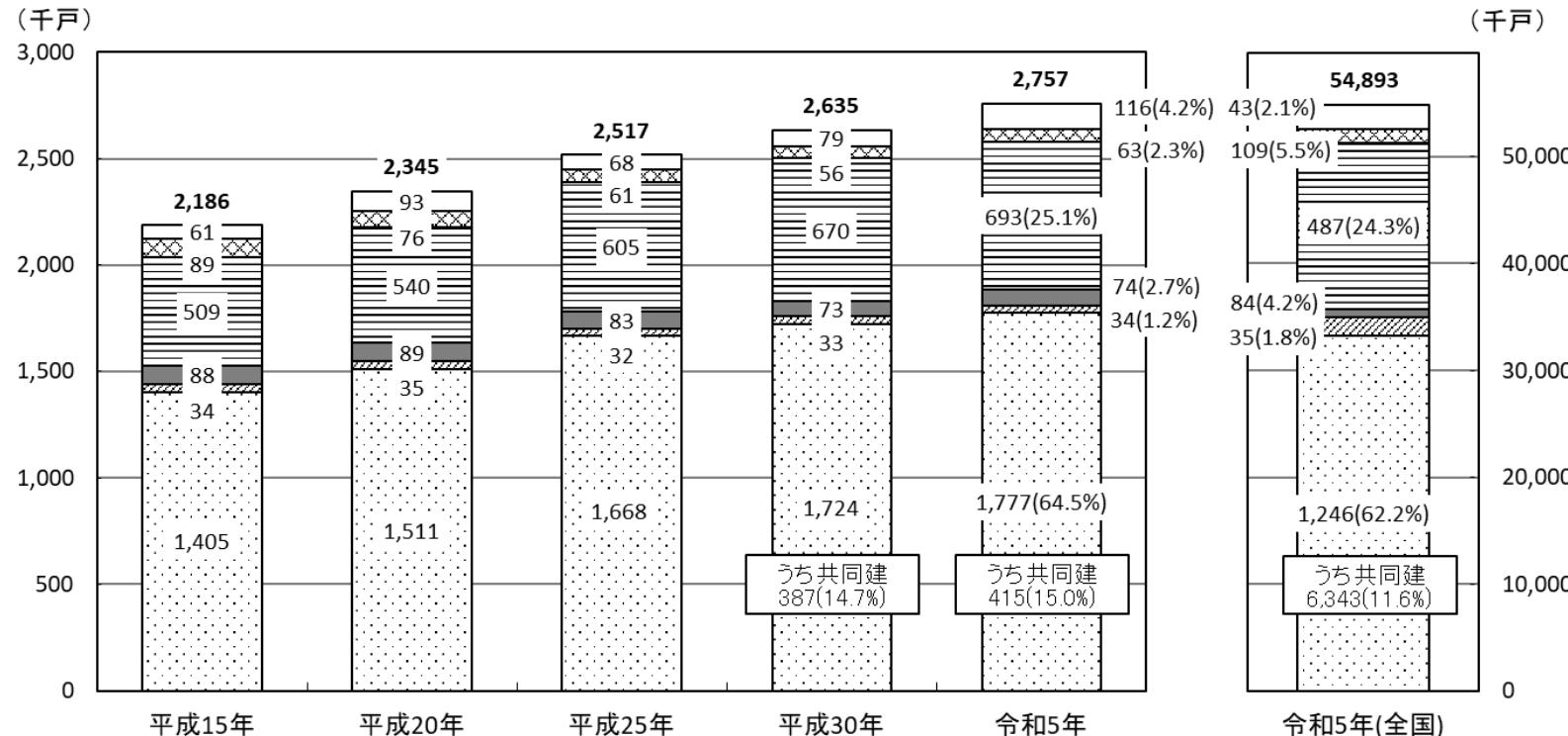
平成15年から令和5年にかけて、居住世帯あり、空き家の割合はともに  
ほぼ横ばいであるが、空家数は約7万戸増加している



出典：住宅・土地統計調査（平成15年～令和5年）

## 所有関係別世帯数の推移

県では世帯数の増加に合わせて  
民営借家と持家がともに増加している

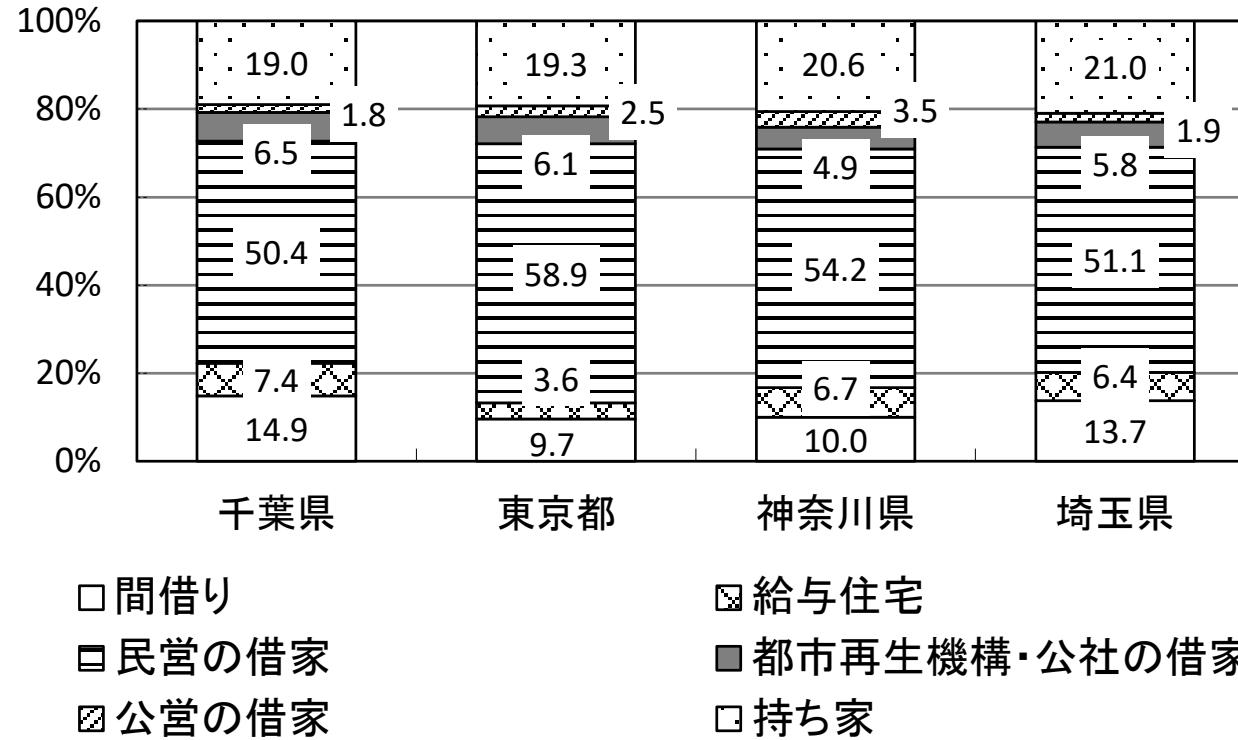


□持家 □公営の借家 □都市再生機構(UR)・公社の借家 □民営借家 □給与住宅 □不詳

出典：住宅・土地統計調査（平成15年～令和5年）

## 所有関係別世帯構成比（外国人）

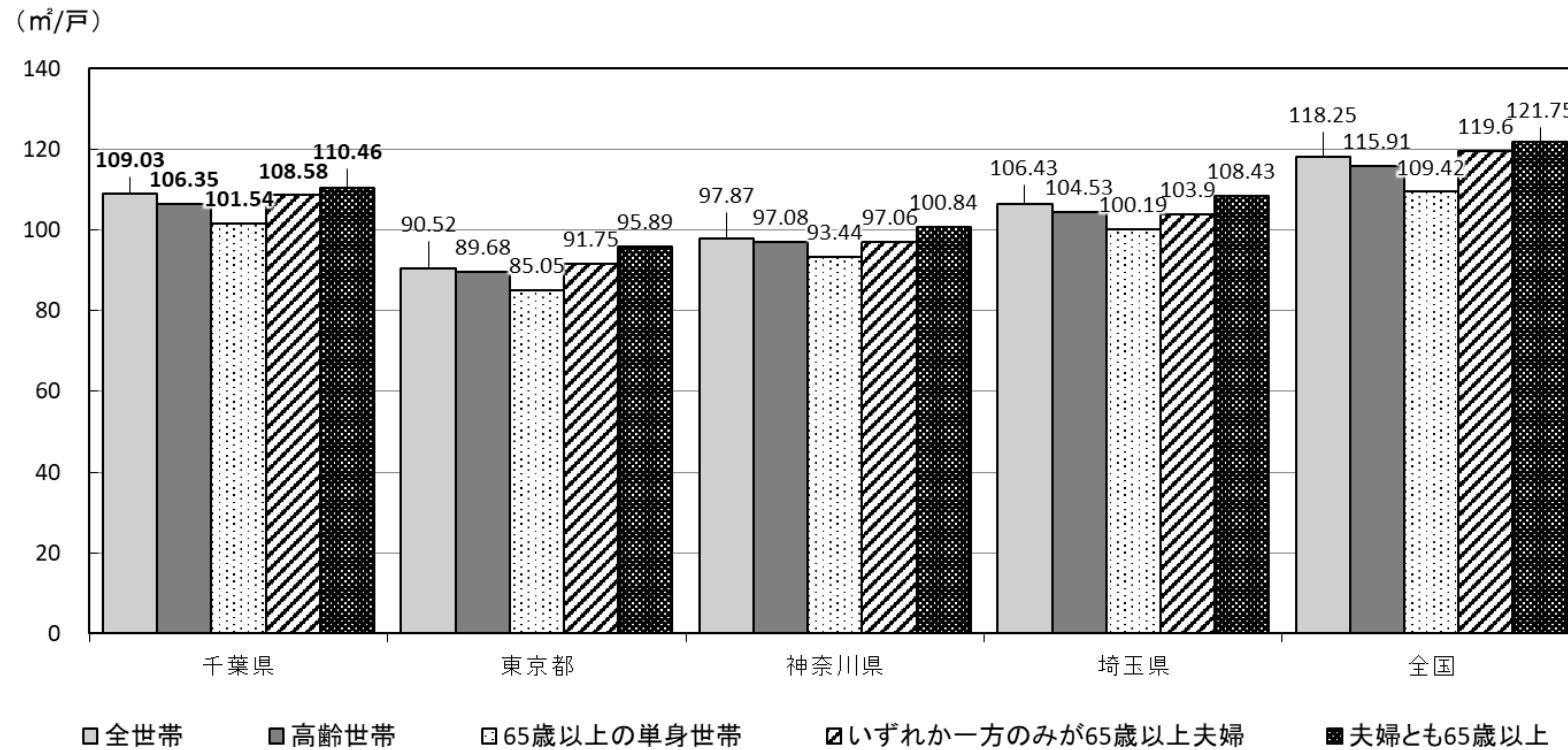
外国人のみの世帯は50.4%が民営の借家に居住しているが、  
一都三県のなかでは低い割合となっている  
持家は19.0%となっている



出典：国勢調査（令和2年）

## 持ち家の平均面積比較

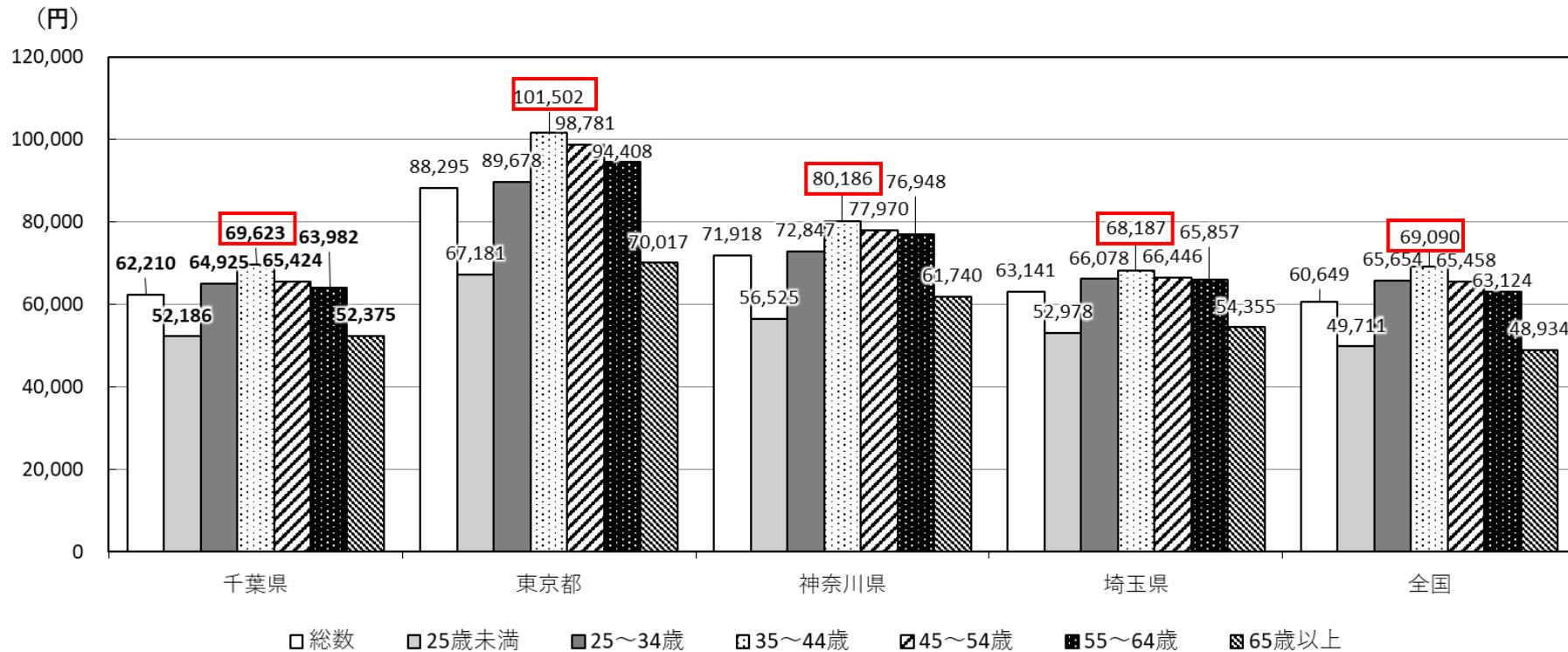
近隣都県と比較して持ち家面積は広く、高齢者の持ち家面積も広い傾向にある



出典：住宅・土地統計調査（令和5年）

## 家計を主に支える者の年齢別借家の平均家賃の比較

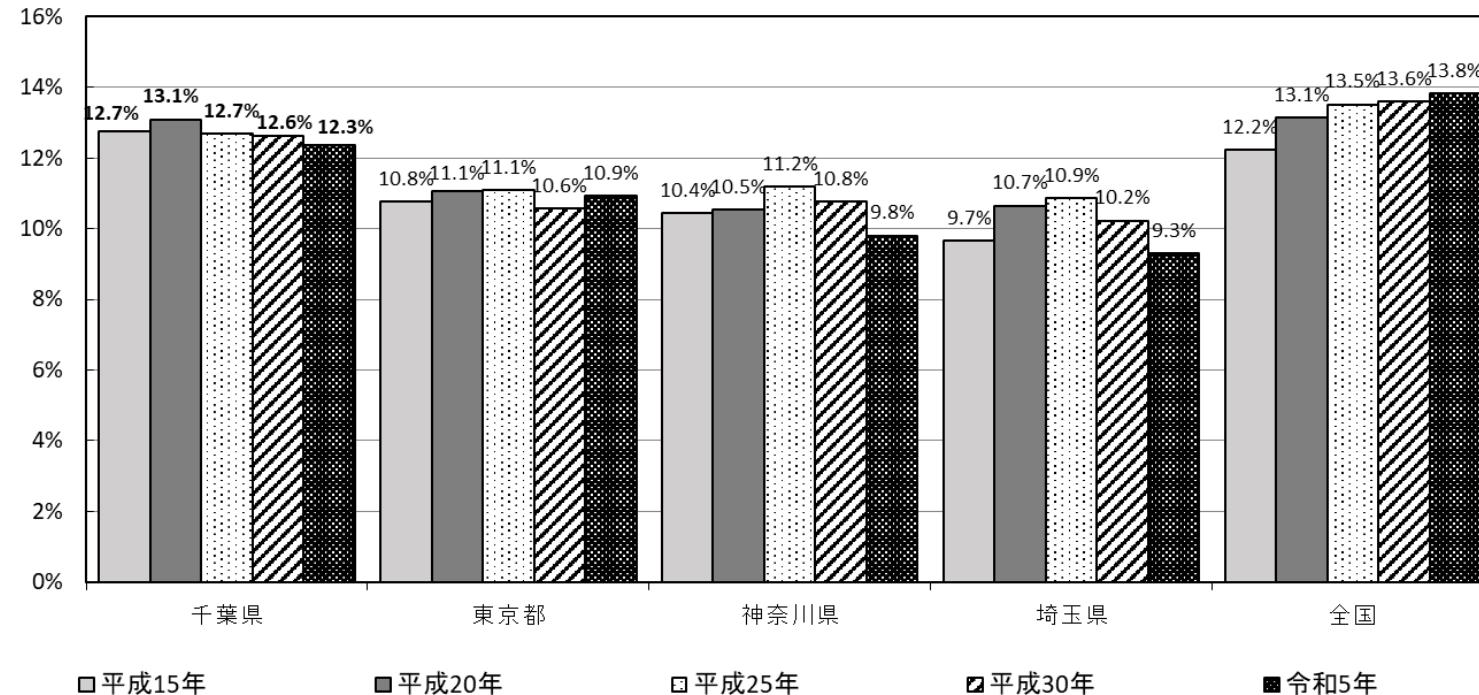
子育てを担う世帯の平均家賃が最も高く、  
千葉県の35～44歳の平均家賃は全国平均と近くなっている



出典：住宅・土地統計調査（令和5年）

## 空家戸数の推移

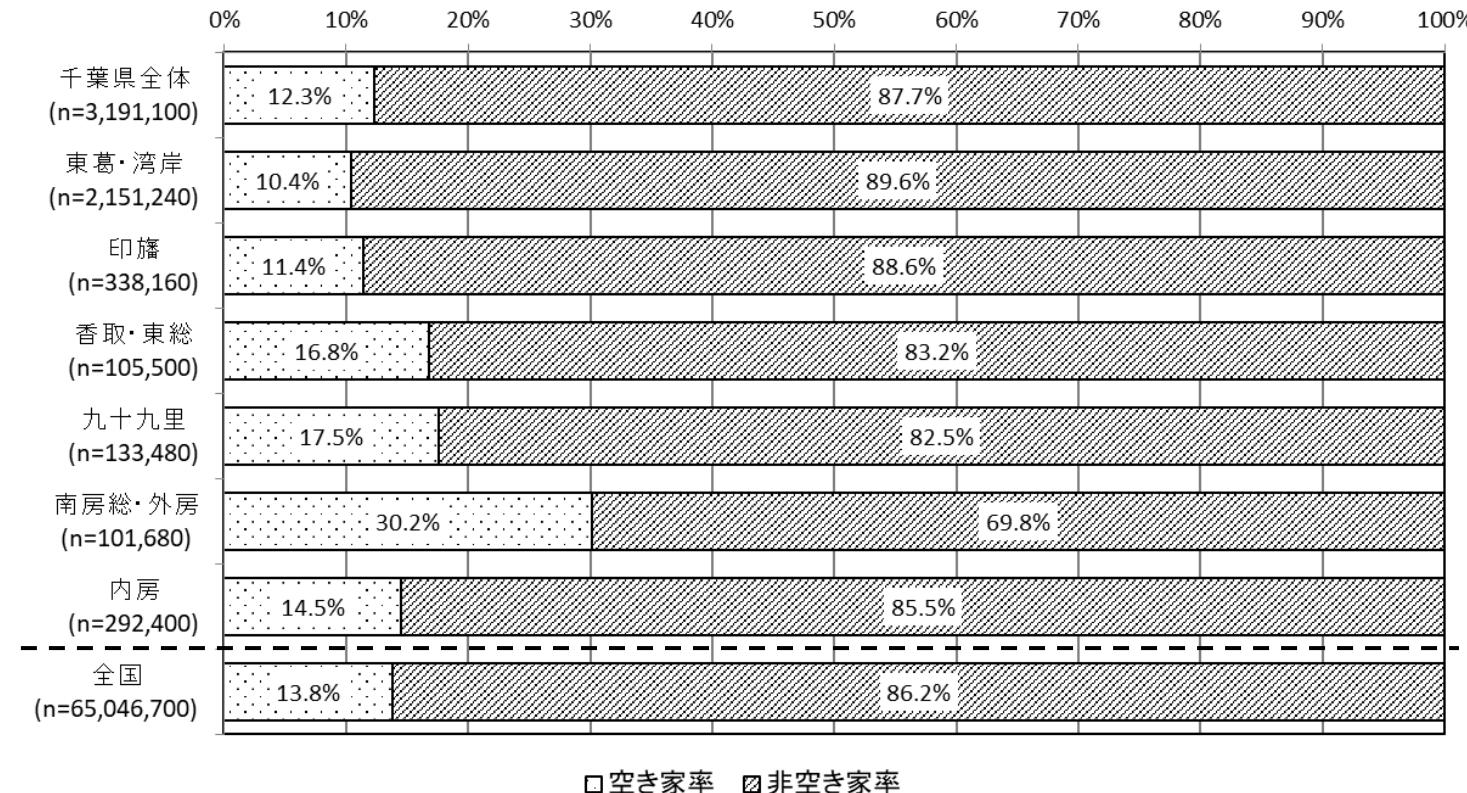
千葉県の空き家率は減少傾向にあるが、一都三県で最も高い



出典：住宅・土地統計調査（平成15年～令和5年）

## (ゾーン別) 空家戸数の割合

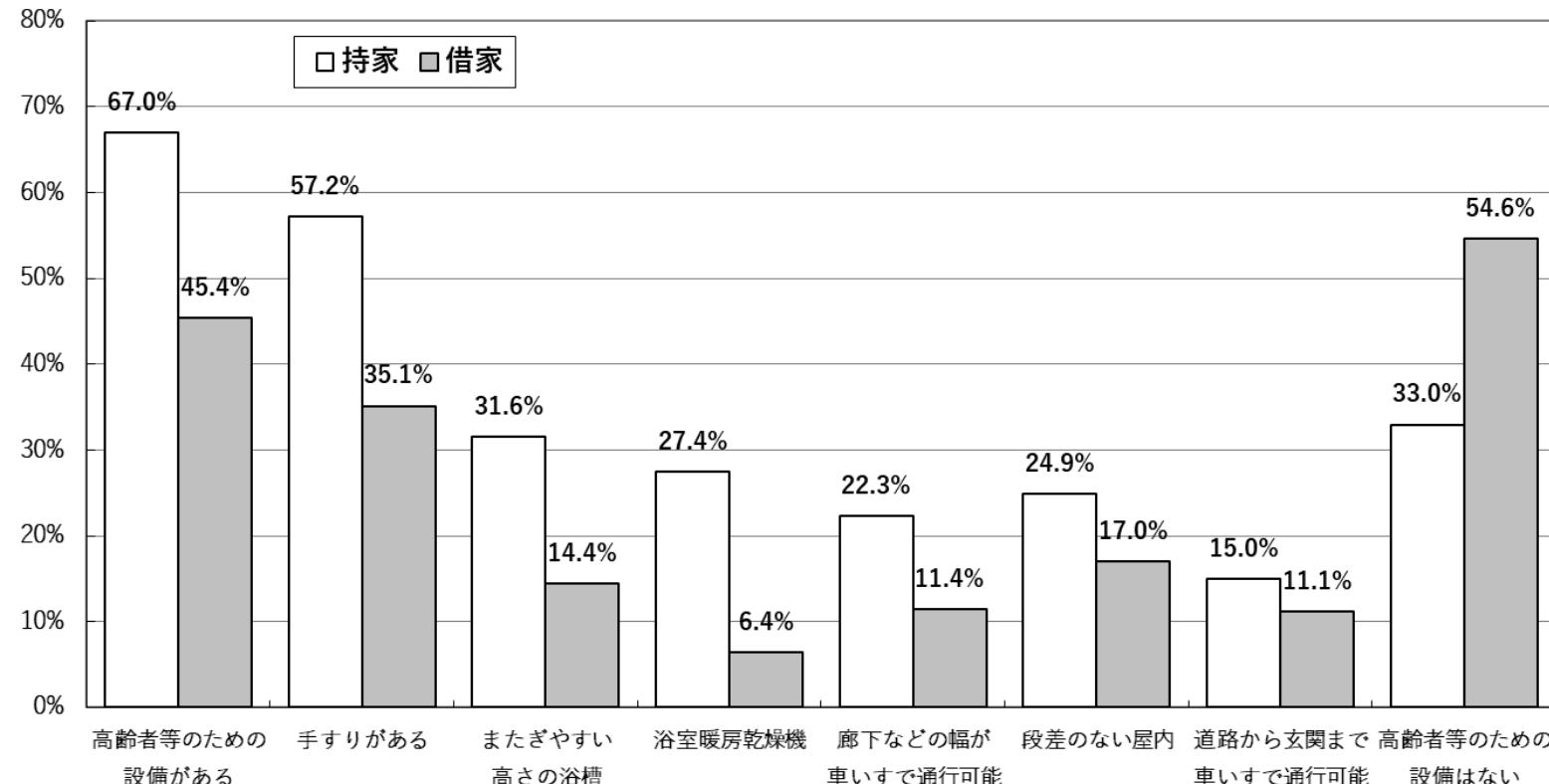
千葉県全体の空き家率は12.3%で、南房総・外房が30.2%と突出して高く、東葛・湾岸は10.4%と低く、地域差が大きい



出典：住宅・土地統計調査（令和5年）

## 高齢者の住まいにおける高齢者等のための設備の状況

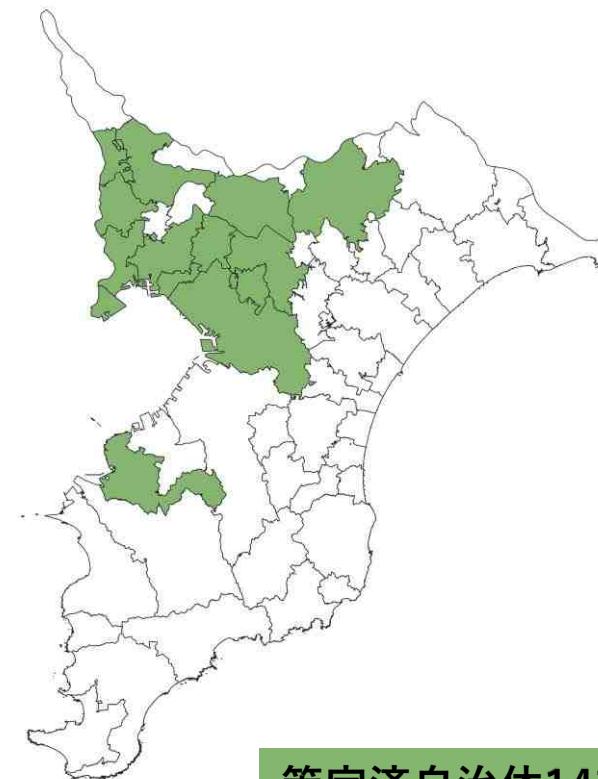
千葉県では借家よりも持家の方が高齢者向け設備の整備率が高い  
『手すりがある』は持家が5割以上整備に対し借家35%にとどまる



出典：住宅・土地統計調査（令和5年）

市町村住生活基本計画の策定済の自治体

住生活基本計画を14の自治体が策定している

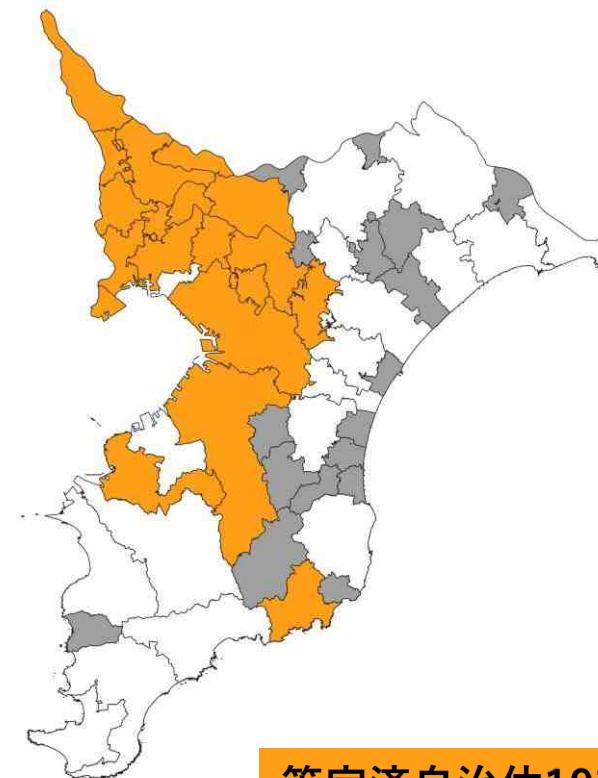


策定済自治体14市

出典：千葉県

マンション管理適正化推進計画の策定済の自治体

マンション適正化推進計画を19の自治体が策定している



策定済自治体19市

町村部 (県所管)

出典：千葉県

千葉県が指定した住宅確保要配慮者居住支援法人

## 香取・東総ゾーンや南房総・外房ゾーンでは法人数が少ない

### 県内全域

ホームネット株式会社	株式会社あんど	エルズサポート株式会社	一般社団法人家財整理相談窓口
株式会社C a s a	特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター		株式会社金田臨海総合
合同会社L O C A	株式会社ホッとスペース東京	株式会社愛花	ナップ賃貸保証株式会社
株式会社N・フィールド	株式会社リーガルスムーズ		ジェイリース株式会社

### 東葛・湾岸ゾーン

特定非営利活動法人生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会
一般社団法人あんしん地域見守りネット
特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク
社会福祉法人生活クラブ※
一般社団法人honeybee
一般社団法人えにしの会
株式会社住まいと生活相談
株式会社S O I N※
株式会社KOOFFICE※
特定非営利活動法人KOMPOSITON
一般社団法人優光会※
こぐまの家株式会社
特定非営利活動法人テンダーケア※

### 東葛・湾岸ゾーン

合同会社ピースケア
労働者協同組合ワーカーズコープちはば
大正屋不動産株式会社
有限会社エイド・サポート
有限会社朱華、株式会社エルデロ

### 九十九里ゾーン

天才保育ランドにこにこサンズ
特定非営利活動法人
大里綜合管理株式会社
株式会社夢のカタチ※
社会福祉法人生活クラブ※

### 印旛ゾーン

株式会社ほがらか
株式会社夢のカタチ※
社会福祉法人生活クラブ※
株式会社S O I N※
株式会社KOOFFICE※
特定非営利活動法人テンダーケア※

### 南房総・外房ゾーン

特定非営利活動法人夕なぎ
--------------

### 内房ゾーン

一般社団法人優光会※
株式会社オールプロジェクト
株式会社櫻想